



Schultz-Mattis 定理で登場する偏極演算子に関する研究についても議論させていただき、研究を進めています。

また、任期終了間際の3月末には、客員所員で頂いた予算で、ドイツのドレスデンにあるマックス・プランク研究所での研究会 DYNPRO17(Dynamical Probes for Exotic States of Matter)に参加させていただきました。そこでいろいろな方々と議論ができ、そこから、また新たな研究テーマが生まれ、研究が進展しつつあります。

最後に、客員所員として受け入れていただいた押川教授、また議論していただいた押川研の皆様方、出張手続きでお世話いただいた5階の秘書の方々や共同利用係の方々に改めて感謝したいと思います。

